

(概念図) 理念とまちづくりの方向性について



基本構想の実現に向けて (区役所改革)

「理念」と「まちづくりの方向性（素案）」

理念

1. 誰もがいつでも主役

声なき声にも耳をすませ、誰もが平和を享受し、ジェンダーをはじめ、年齢、国籍、心身の状況、社会的・経済的状況、意見や価値観の違いなどの多様性を認め尊重し合い、区民一人ひとりが幸せを感じ、あらゆるライフステージにおいて健康で自分らしく過ごせるまちを実現します。

2. みんなをつなげる、みんなでつくる

誰一人取り残さず、子どもから高齢者まであらゆる人をつなげ地域課題の解決にあたりとともに、地域団体、民間企業、他の地方自治体など多様な主体と協働の輪を広げ、みんなでつくる共創社会や、自律的な好循環が生まれる持続発展するまちを目指します。

3. 「としま」らしさを生かす

多様な表情を持つ高密都市において先人達が創造してきた地域に息づく文化や歴史を継承し、地域の個性を生かして魅力をさらに高めます。安全・安心で賑わいあふれる居心地の良い都市空間の中で、未来を担う子どもたちを地域全体で育み、「住みたい、住み続けたい、訪れたい」誇れるまちとして、力強く発展し続けます。

まちづくりの方向性

[凡例] ○背景や地域特性などを包括的に記載したもの
◆取組の大きな方向性を包括的に記載したもの

1 共に支えあう安全・安心なまち

○日本一の高密都市、有数の繁華街を有する本区は、多様な人々が住み、訪れ、行き交います。
◆地域で安心して生活できるよう、地域コミュニティの活性化をはじめ、災害・治安や住環境などへの対策を、ハード・ソフトの両面から講じ、安全・安心なまちづくりを進めます。

2 めくもりのある子育てしやすいまち

○消滅可能性都市の克服を持続発展に繋げるためには、さらに質の高い子育て環境が必要です。
◆切れ目のない支援により安心して子どもを産み、育てることができる環境を作り、誰もが一人で悩むことなく子育てを行い、子どもがのびのびと育つまちづくりを進めます。

3 子ども・若者が自分らしく成長できるまち

○「誰もがいつでも主役」の実現には、特に声が届きにくい子ども・若者目線のまちづくりが重要です。
◆子ども・若者の声を聴き、寄り添い、一人ひとりの権利が尊重され、将来への希望をもって自分らしく成長できるまちづくりを進めます。

4 多彩な文化と産業で賑わいあふれるまち

○多彩な企業の集積、マンガ・アニメ等文化の継承・創造は、まちが持続発展する生命線です。
◆地域産業の活性化を図るとともに、首都東京を牽引する国際文化都市として、人・アート・カルチャーが交差する賑わいあふれるまちづくりを進めます。

5 誰もが地域で共に暮らせる福祉のまち

○単身世帯が増え続ける本区では、孤独・孤立対策など、よりきめ細かな支援が求められています。
◆誰もが自分らしく歳を重ね、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、本人が望む社会とのつながりや自立生活を支えるまちづくりを進めます。

6 生涯にわたって健康で輝けるまち

○コロナ禍を経験し、人生100歳時代を迎える今、自ら健康を守り育む環境づくりが求められます。
◆こころと体の健康な生活を維持・増進するとともに、スポーツに親しむことのできる環境を整備し、誰もがライフステージに応じて健康な生活を送れるまちづくりを進めます。

7 共につくる地球にも人にもやさしいまち

○高密都市だからこそ、より限られた資源の有効活用、環境負荷の低減、緑を守る責任があります。
◆多様な主体が相互に協力しながら都市の緑を育み、清潔で美しいまちを創出するとともに、脱炭素地域社会づくりを推進し、良好な環境を次世代へ引き継ぐためのまちづくりを進めます。

8 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

○交通結節点の池袋を起点とした、誰もが安心して楽しめる街づくりが喫緊の課題です。
◆次世代に誇れる魅力ある都市を創出するとともに、池袋駅を中心に各地域の魅力あるスポットを結び付け、区内全体を回遊性が高く、誰でも安全で歩きやすいまちづくりを進めます。